

## 捕獲業務仕様書

### 【猟法・捕獲手法】

- ・捕獲時期によっては、積雪状態で実施する可能性があることから、人員の投入や捕獲個体の搬出については、除雪を行った上で車両を使用するか、又は植生や希少猛禽類に十分配慮した上でスノーモービルの使用を検討する。

猟法（捕獲手法）	実施期間	場所	捕獲上限
わな猟（くくりわな）	1月～2月	網走中部森林管理署国有林 2006、2007、2077、2202、2203、及び 2206 林班並びに幌岩鳥獣保護区	20 頭

### 【実施体制】

区分	内容
わな猟	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季にも架設が容易な薄型の跳ね上げ式のくくりわなを 20 基程度設置し、捕獲を行う。</li> <li>・捕獲実施期間は1月から2月のうち 40 日間とする。なお、40 日には捕獲効率維持等のための捕獲休止期間を含む。</li> <li>・わなの設置前に行う対象地域の調査により適切な設置位置を選定する。必要に応じて自動撮影カメラを用い、エゾシカの動向を把握する。</li> <li>・一度エゾシカが捕獲されたわなは、他の個体に警戒されている可能性が高いため、必要に応じてわなを移設するなどして捕獲効率の維持を目指す。</li> <li>・エゾシカは季節移動することが知られているため、エゾシカの移動に合わせて捕獲を行う林班を移すなどして捕獲効率の維持を目指す。</li> <li>・誘因餌は大豆又はヘイキューブなど地域のエゾシカの嗜好に適したものをを用いる。なお、給餌に当たっては、餌は箱に入れるなど散逸しないようにする。</li> <li>・ヒグマの錯誤捕獲及びわなに掛かったエゾシカによるヒグマの誘引を防ぐため、対象地域におけるヒグマの活動状況を考慮してわな猟を実施する。</li> <li>・見回りは、捕獲個体の損傷防止やヒグマの誘引防止のため、1日1回以上、各2名以上（うちハンター1名以上）の体制で行う。併せてわなの定期的な点検も行う。</li> <li>・エゾシカ以外の鳥獣が錯誤捕獲された場合は放獣する。</li> <li>・わなには、事業者名もしくは捕獲従事者名、住所、従事者証の交付者名、委託元、実施期間、及び捕獲しようとする鳥獣の種類を記載した標識を見やすい場所に設置するとともに、わな設置地への道の入り口等、入込者や地域住民にわかりやすい場所に注意喚起標識を設置し周知する。なお、わなに設置する標識の記載事項は、金属製又はプラスチック製の標識に縦横 1cm 以上の大きさの文字で記載する。</li> <li>・わなの設置には立木を利用し、樹木に損傷を及ぼさないよう十分留意する。</li> </ul>